

旧唐津銀行本店（1/2）

～日本を代表する建築家辰野金吾監修～

分野	文化
地域	唐津

◎地図・写真・統計資料など

■建物の概要

旧唐津銀行本店は、明治45年（1912）3月に竣工した煉瓦造、地下1階、地上2階の洋風建築物で、随所に明治から大正へと移り変わる時代の流れを見ることができます。

設計は清水組の田中実ですが、田中の師であり明治を代表する唐津出身の建築家辰野金吾が監修をしたといわれています。

建築デザインは、イギリスのクィーン・アン様式を2本化した「辰野式」と呼ばれるものです。

外壁は、一見赤レンガに見えますが、実はクリーム色の陶土に釉薬（ゆうやく）を掛けて焼いたタイル。欧米伝来そのままの煉瓦仕上げから、雨の多い日本に合わせ、レンガ風のタイルを作り始めた初期のものです。

レンガタイルに花崗岩の白いボーダー^{※1}で装飾を施したり、天然スレート葺きの屋根の上に尖塔を載せて王冠のように強調しているのが特徴です。

アールヌーボー^{※2}風の暖炉やアーチ型の曲線を生かした窓枠など、貴重な内装が優れた保存状態で保たれています。これは、平成9年に唐津市に寄贈されるまで銀行として使われていたため、85年間業態が変わらず、また大幅な改修を受けなかったためと考えられます。

■旧唐津銀行の歴史

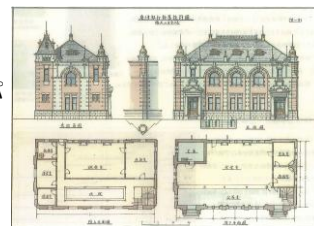
旧唐津銀行は、明治18年に設立され、明治45年に本店が現在地（唐津市本町）に移転新築されました。その後、他の銀行との合併・統合を経て佐賀銀行となり、唐津市本町にある建物は、佐賀銀行唐津支店として平成9年2月まで利用され、同年4月に唐津市に寄贈されました。

※1 ボーダー……………へり、飾り縁

※2 アールヌーボー………19世紀末の産業社会を背景に、ヨーロッパを中心に広がった装飾様式。

曲線的で過剰な装飾が特徴的である。

～2/2へつづく～



◎エピソード・伝承・うんちく など

■旧唐津銀行の沿革

- 明治18年10月23日 唐津銀行設立（大石町）
頭取：大島小太郎、資本金3万5千円
- 明治26年11月21日 商号を株式会社唐津銀行に改める。
- 明治32年10月15日 相知支店開設
- 明治41年 3月25日 西支店開設
- 明治45年 4月15日 本店を現在位置（本町）に新築移転
- 大正10年 6月15日 糸島銀行（前原町）を吸収合併
- 大正13年10月 1日 相互銀行（唐津市）を吸収合併
- 大正14年 5月 1日 栄銀行（佐賀市）を吸収合併
- 昭和 6年 8月 1日 西海商業銀行と合併し佐賀中央銀行（唐津市本町）を設立
頭取：大島小太郎、資本金453万円
- 昭和21年12月 1日 佐賀市に移転
- 昭和30年 7月10日 佐賀中央銀行と佐賀勸業銀行が合併し佐賀銀行を設立



明治45年 唐津銀行本店
(唐津市近代図書館より)



旧唐津銀行(外観)



旧唐津銀行内部(二階吹き抜け)
(唐津市フォトライブラリーより)

◎引用・参考文献（出典）

◆H22年7月 唐津市商工観光部観光課作成 内覧用資料より（本文・エピソード欄・写真）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

旧唐津銀行本店（2/2）

～日本を代表する建築家辰野金吾監修～

～1/2からつづく～

■整備の経過

唐津市では、貴重な文化財であるこの建物を後世に伝えるとともに観光資源として活用するため、平成20年7月から保存整備工事を行いました。平成22年3月までに、本館の保存復原が終わり、創建当時の姿を取り戻しました。平成22年度は、本館の北側にエレベーターやトイレを備えた付属棟を建設し、敷地内の駐車場などの整備や北側に隣接する土地を広場として整備し、平成23年春より一般公開されています。

■監修：辰野金吾（1854年～1919年）

近代建築の礎を築いた建築家。

唐津出身。工部大学校（現・東京大学工学部）造家学科の第1回生として首席で卒業後、多くの後継者を育てる。実務でも腕を振るい、日本銀行本店、東京駅などの近代日本を代表する数多くの建造物を設計した。

■設計：田中実（1854年～1919年）

恩師の故郷で腕を振るう

辰野金吾の愛弟子。清水組（現・清水建設株）の6代目技師長として旧大同生命保険九州支店など多くの作品を残す。旧唐津銀行では、恩師の故郷であることを考え「辰野式」と呼ばれる変化に富んだにぎやかなデザインを採用している。

◎エピソード・伝承・うんちく など

■唐津が生んだ建築界の巨匠たち

- ・辰野金吾（たつのきんご 1854～1919）
坊主町に生まれる。
帝国大学工科大学教授、工科大学学長、日本建築学会会長等の要職を歴任。明治建築界最大の巨匠。
代表作には日本銀行本店（国指定重要文化財）、両国国技館、東京駅（国指定重要文化財）など。唐津近辺では武雄温泉棟及び楼門、現福岡市立歴史資料館などがある。
- ・曾禰達蔵（そねたつぞう 1852～1937）
1879年工部大学校（現東京大学）造家学科を第1回生として卒業。1881年工部大学校助教授。1886年海軍省を経て三菱社へ入り、三菱丸の内赤レンガ街、占勝閣等の建設に従事。
代表作として慶應義塾創立50周年記念図書館（国指定重要文化財）がある。
- ・村野藤吾（むらのとうご 1891～1984）
東唐津に生まれる。
1918年早稲田大学建築学科を卒業。大阪の渡辺節事務所に入り、チーフデザイナーとして活躍。1929年村野建築事務所を開設。森五商店東京支店、大阪パンションなど国際スタイルの建築を作り注目される。代表作として広島市にある世界平和記念聖堂（国指定重要文化財）がある。

分野 文化

地域 唐津

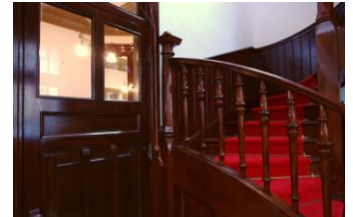
◎地図・写真・統計資料など



辰野 金吾



田中 実



旧唐津銀行内部(階段)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆九州・山口産業遺産：西日本新聞
- ◆建築マップ佐賀県
- ◆唐津近代図書館発行資料

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html